

前橋工科大学ブックレット(余暇の風景学を考える)

目 次

<上巻>

はじめに ー余暇を味わうことー

第1章. 景観力は人生を豊かにする

- 1-1. 地方からの景観論 2
道理の響く風貌の地／「気」を纏う風景浴／景観づくりの点と線
懐かしい「風景の未来」／往来する「食」と「景」
挑みの景観術／創景への送り風
- 1-2. 景観文化を支える多層性と多様性 12
県土イメージの形成と享受／地域らしさの再定義から新しい価値
の生成へ
- 1-3. フィールドワークへの招待 15

第2章. 五感力が風景と出会う

- 2-1. 視能の精度を高める 20
- 2-2. 聴能の最適化を図る 23
- 2-3. 触能の領域を広げる 28
- 2-4. 嗅能の感度を上げる 31
- 2-5. 味能の意味をかみしめる 35
- 2-6. 感覚の協働化から風景の味わいへ 40

第3章. 地域の中で風景を楽しむ

- 3-1. 日本三景の視覚様式 46
- 3-2. 借景と枠取り 55
- 3-3. 八景式観賞法 63

3-4. シークエンス（継起的）体験	65
--------------------------	----

第4章. 「時の縁」で風景を愉しむ

4-1. 朝夕の縁相—光の満ち引き	73
4-2. 夕景の美しさ	77
4-3. 朝景の美しさ	89

<下巻>

第5章. 天象の風景を愉しむ —月と太陽の「影」と「陰」—

5-1. 月景の美しさ—月が魅せる—	
5-2. 日影景の美しさ	

第6章. 降水の風景を愉しむ —雨と雪の諸相—

6-1. 雨景の美しさ	
6-2. 雪景の美しさ	
6-3. 置き換えと景趣の多様化	

第7章. 机上で風景を愉しむ—頭の中の創景—

7-1. 風景描写と天気図と地形図と	
7-2. 思い出と遊ぶ風景創話	
7-3. 風景漫遊術	

あとがき